

## 第20回災害廃棄物対策中国ブロック協議会 議事録

日 時：令和5年7月25日（火）13時30分～15時30分

場 所：第一セントラルビル3号館4F セントラルフォレスト ローズマリー  
オンライン会議システム併用

議 事：

- (1) 令和5年度協議会の運営について
  - ① 協議会設置規程について
  - ② 協議会及び幹事会について
- (2) 令和5年度の協議会調査検討事項（案）について
- (3) 令和5年度災害廃棄物処理対策セミナーの実施概要（案）について

報告事項：

環境省における災害廃棄物対策

### 1 開会

環境省中国四国地方環境事務所 坂口所長より開会の挨拶が行われた。

### 2 あいさつ

### 3 議 事

(座長)

議事の「(1) 令和5年度協議会の運営について」、事務局より説明をお願いする。

#### (1) 令和5年度協議会の運営について

議事の「(1) 令和5年度協議会の運営について」、事務局より資料1、2の説明が行われた。説明の後、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 環境省)

(資料1、2説明・省略)

(座長)

資料1、2について、ご意見・ご質問等があればお願いする。

構成員についての紹介はなかったが、過年度より継続的に参加している方がいる一方、新年度に人事異動等で本協議会の担当部署に配属されて出席している方も多いと思う。過年度は、幹事会を年に2回開催してきたが、今年度は1回となり、若干違っ

た運営となる。

他に意見は無いようなので、了解いただいたということで、次の議題に移る。

## (2) 令和5年度の協議会調査検討事項(案)について

議事の「(2) 令和5年度の協議会調査検討事項(案)について」、事務局より資料3の説明が行われた。説明の後、以下の通り意見交換がされた。

### (事務局 MURC)

(資料3説明・省略)

### (座長)

資料3は、本日のメインテーマになると思う。今年度の調査検討項目について説明があり、9項目のうち3項目が新規、残りの6項目が継続の内容である。

何か意見・質問等があればお願いします。

### (委員)

資料3「第1 他ブロックとの連携の在り方に関する調査検討【継続】」について、これまで中国四国ブロック間の連携体制について検討し、災害規模により協力体制について取り決めがされているが、まだ完璧に記述できておらず、理解できていない部分がある。連携を広域にするのは良いが、さらに隣接する他ブロックとの連携を考える際には、中国四国ブロック間の連携に加え、県市内での連携もあるため、定義やルールがないと、現実的にどのように使って良いか分からなくなるのではないかと懸念している。

資料3「第2 災害廃棄物の広域輸送に関する調査検討【継続】」について、広域輸送は、発災直後ではなく、県市内やブロック内で一定程度の処理が進んだ段階で検討することであるため、広域輸送が必要になる条件やタイミングを整理しておく必要がある。これからの検討事項として整理しておくべきである。

### (委員)

継続の項目については、昨年度までの議論を踏まえて計画されたものであり、協議会の趣旨に沿った内容であると思う。資料3「第5 ブロック行動計画に係る説明会の実施について【継続】」は、行動計画の実行性の向上には有益であり、継続が重要だと思う。

資料3「第6 災害廃棄物処理支援員との意見交換会の実施について【新規】」について、現時点で具体的な実施イメージはあるか。ブロック協議会構成員と支援員との間で、決められたテーマに沿って意見交換するようなイメージか。

資料3「第7 災害廃棄物の仮置場設置運営訓練の実施【新規】」について、昨年度はモデル業務で3自治体の訓練を実施した。各モデル自治体で仮置場レイアウト図や実施要領を作成し、訓練を踏まえてそれらを修正していたが、今年度も同様の方法で進めるのか。

**(事務局 MURC)**

「第2 災害廃棄物の広域輸送に関する調査検討【継続】」に関する意見について、昨年度は広域輸送の特徴等を整理したが、今年度は自治体側の視点で必要な手続きや手順を整理したいと考えている。その際に広域輸送を行うタイミングについても検討を行うこととしたい。具体的には、広域輸送を実施した自治体にヒアリングを行い、実施時期とその評価について確認し、事例ベースで検討を行いたいと考えている。

「第1 他ブロックとの連携の在り方に関する調査検討【継続】」に関する意見について、他ブロック間連携は、ケーススタディとして検討することを考えている。例えば、中国ブロック内の県で災害が発生して中国ブロックと九州ブロックで連携する場合にどうするかを考えようと思っており、必要であれば、九州地方環境事務所にもヒアリングを行いたい。

**(委員)**

中国ブロック単独で、災害時の連携をケーススタディとして可能性を検討するという事で承知した。もし近畿ブロックや九州ブロックと調整を行うのであれば、大変であると考えていた。

広域輸送は広域連携とはどう関わるのか。広域輸送を各県や市が単独で実施することを検討するのか、中国ブロック内での連携を前提として広域輸送を活用することを検討するのか。

**(事務局 MURC)**

広域輸送と広域連携は関連性があり、完全に切り離すことは難しいが、今年度は、自治体が広域輸送を行う際に必要な手続きや手順について検討したい。検討の際に、部分的に広域連携に関連した検討が必要となる可能性はある。

**(委員)**

承知した。

**(事務局 MURC)**

「第6 災害廃棄物処理支援員との意見交換会の実施について【新規】」に関する

質問について、災害廃棄物処理支援員制度（人材バンク）に登録している中国四国ブロック内の支援員の中で出席可能な方全員に、現地かオンラインのいずれかに出席してもらう想定である。設定したテーマについて、複数の支援員と複数のブロック協議会構成員での議論を想定している。

**（委員）**

意見交換会のテーマは事前に決めておくのか。

**（事務局 MURC）**

そうである。人材バンクは6分野に分かれているため、その分野を参考にテーマを決めたいと考えている。

「第7 災害廃棄物の仮置場設置運営訓練の実施【新規】」に関する質問について、昨年度は各自治体で作成した実施要領に基づき訓練を実施し、訓練結果を踏まえた修正を行った。今年度の実施場所は未定であるが、実施する自治体に実施要領や手順書があればそれをベースとし、無ければ実施要領や仮置場レイアウト図を作成することを考えている。実際の仮置場候補地での実施を想定しており、仮置場レイアウト図は、実際の災害を想定したものを作成することを想定している。訓練のどこに重点を置くか、例えば、実際に重機を活用することや、職員で仮置場の設営ができるようになること等については検討が必要である。

**（委員）**

資料3「第7 災害廃棄物の仮置場設置運営訓練の実施【新規】」は、非常に良い試みである。仮置場の車両動線、レイアウトや分類毎に置く順番、人員配置等についての検討にはノウハウが必要である。被災経験のない自治体が仮置場候補地で訓練しておく、災害時に役に立つ。過去の災害では、仮置場への搬入に時間がかかるため、住民が周辺に廃棄してしまった例もある。仮置場の検討ができる職員を養成することが非常に重要である。

国立環境研究所の「仮置場配置図自動作成ツール Kari-hai」についても、訓練時に講習できると良い。仮置場レイアウトを考える能力を養うことが重要である。

**（座長）**

資料3「第7 災害廃棄物の仮置場設置運営訓練の実施【新規】」と「第8 廃棄物処理施設見学会の実施【新規】」は、どちらも半日程度での実施を想定しているところがある。中国四国ブロック合同で1回開催するのだと思うが、仮置場設置運営訓練と廃棄物処理施設見学会は、地理的に近い場所での開催になるのか。調整が難しければ離れた場所で開催することもあるのか。

廃棄物処理施設について、近年整備された焼却施設では、災害廃棄物を仮保管するヤードを整備している施設がある。破砕等の前処理が可能な施設もあるが、別の施設で破砕処理等を行うことで災害廃棄物に対応できる施設もある。また、被災者の避難場所として活用することに力点が置かれた施設もある。見学の適地は多くないと思うため、可能であれば候補地を紹介してもらいたい。

**(事務局 MURC)**

廃棄物処理施設見学会の場所は未定である。中国四国地方の各自治体からのアクセス面では岡山県の利便性が高いと思うが、仮に交通利便性が良くない場所になった場合には、前泊してもらうことも想定している。域内の移動はバスを手配し、見学場所まで集団移動することを想定している。

**(事務局 環境省)**

仮置場設置運営訓練と廃棄物処理施設見学会は、いずれも半日を想定しているが、別日に実施するか、まとめて1日で実施するかという点や、実施場所については、関係者間での調整が必要な状況である。参加しやすさには配慮したい。

廃棄物処理施設には、様々な特性を持つ施設があることは承知している。全ての施設を把握できてはいないが、自治体等と調整し、比較的新しく参考になる施設を選びたい。

**(座長)**

仮置場設置運営訓練と廃棄物処理施設見学会は、11月頃の実施予定である。次回の11月上旬予定の第14回幹事会では直前になってしまうため、もう少し早い段階で開催場所等を報告してもらえるのか。

**(事務局 MURC)**

第14回幹事会、仮置場設置運営訓練、廃棄物処理施設見学会、それぞれの日程次第で報告時期が異なると考えている。仮に訓練及び見学会の日程と幹事会の日程が近くなった場合は、幹事会より早い段階で報告するが、幹事会が訓練及び見学会より一定程度先の時期に開催となるのであれば、幹事会で報告する。

**(座長)**

日程連絡には、柔軟な面があると理解した。

副座長からも何かご意見があればお願いしたい。

(副座長)

昨年度にいくつか仮置場実地訓練に参加したが、意外と時間はかからなかった。模擬ごみを用意したとしても、車が何台も入る訳ではないため、現場の訓練自体は1時間もかからずに終わる。他に事前説明と振り返りに時間を要するが、半日あれば十分という印象である。廃棄物処理施設見学会と合わせて1日で実施できるように、移動可能な場所を組み合わせられると良いと思う。

ただし、仮置場実地訓練は天候に左右されることがある。悪天候時は中止にするのか、屋内での勉強会を実施するのか等の対応を検討しておく必要がある。

(座長)

実務的な視点での意見をありがとうございました。

今年度から担当になった方も多いと思うが、前任者からの検討内容を上手く引き継ぎ、この協議会での活動が実りあるものとなるように願います。

(3) 令和5年度災害廃棄物処理対策セミナーの実施概要(案)について

議事の「(3) 令和5年度災害廃棄物処理対策セミナーの実施概要(案)について」、事務局より資料4の説明が行われた。説明の後、以下の通り意見交換がされた。

(事務局 MURC)

(資料4説明・省略)

(座長)

何かご意見があればお願いしたい。

「同日開催」とは、中国ブロックと四国ブロックの合同開催という意味か。

(事務局 MURC)

そうである。

(座長)

他に意見が無いようなので、議事はここまでとする。

これ以降の進行については事務局にお返すする。

#### 4 報告事項

##### 環境省における災害廃棄物対策

「環境省における災害廃棄物対策」について、環境省 再生・資源循環局 環境再生事業担当参事官付災害廃棄物対策室より資料5の説明が行われた。説明の後、以下の

通り意見交換がされた。

(事務局 環境省 (本省))

(資料5 説明・省略)

(事務局 MURC)

何か質問があればお願いします。

(副座長)

災害廃棄物発生量推計式の見直しについて説明があった。今回の見直しで非常に精度が上がる反面、推計式が非常に複雑であり、自治体職員が理解するのは簡単ではないと思う。

例えば、計画を見直す際の水害の被害想定を用いた推計方法や、実際の災害事例に沿って、どのように推計式に係数等を当てはめていくか、災害廃棄物発生量の推計値が実際の被害とどれくらい近似した値となるか等を示してもらいたい。

もう少し自治体の視点で、どう使うかを考えて工夫された説明資料を作ってもらえるとありがたいと思う。今後、そのように検討してもらいたいという要望である。

(事務局 環境省 (本省))

ご指摘の通り、精度が改善した一方で、係数や数字が増えて非常に複雑になっている。災害の実例を踏まえた例示等、ガイドンスで分かりやすく整理したいと思う。

(委員)

資料5「環境省における災害廃棄物対策」の22ページにある推計式の $X_1$ 、 $X_2$ とは何か。

(事務局 環境省 (本省))

資料5「環境省における災害廃棄物対策」の22ページの「添え字」として記載している通り、 $X_1$ が住家全壊棟数、 $X_2$ が非住家全壊棟数であり、両者を合わせて建物の全壊棟数になる。

(委員)

建物解体以外に車両の被害は推計に入っているか。

(事務局 環境省 (本省))

自動車被害は含まれていない。

(岡山県)

今回の推計値の見直しに伴い、各自治体で策定している災害廃棄物処理計画に記載している推計量が変わると思う。推計量の見直しは、自治体が自ら検討すべき事項であることは理解しているが、環境省ではどのように考えているか。

(事務局 環境省 (本省))

災害廃棄物処理計画改定の際に、可能な範囲でこの推計式を活用してもらえると良いと考えている。また、多くの自治体では地震災害を中心に検討しているように思う。今後、水害・土砂災害を検討される際に、この推計式を使う等、柔軟に対応してもらえると良い。

(岡山県)

ご指摘の通り、岡山県でも南海トラフ地震を中心に検討おり、水害までは手が回っていないのが現状である。また、発生量や被害想定、ハザードマップが随時更新されるため、見直すタイミングを見極めるのが難しいが、この推計式を参考にしたい。

(事務局 環境省 (本省))

推計式について、政令指定都市からは問合せ等があるが、自治体により人員が違い、対応も変わってくると思うため、柔軟に対応してもらえれば良い。

(事務局 MURC)

他に質問はないようなので、この議題はここまでとする。

## 5 その他

### 今後の予定について

「今後の予定について」、事務局より説明が行われた。

(事務局 MURC)

資料3「令和5年度の協議会調査事項(案)」で説明した通り、今年度は、調査の他に、セミナー、ブロック行動計画説明会、災害廃棄物処理支援員との意見交換会、仮置場実地訓練及び廃棄物処理施設見学会、図上訓練の実施を予定している。

このうち、セミナーと行動計画説明会、災害廃棄物処理支援員との意見交換会については、8～9月の開催を予定している。

仮置場実地訓練及び廃棄物処理施設見学会については、本日の意見を参考にして実施場所を調整し、当該自治体と打合せをして実施日を決めるが、11月頃を予定してい



る。

図上訓練については、訓練幹事自治体と打合せをして日程を決めるが、年明けの1月の実施を予定している。

これらについて、日時・場所が決まり次第、それぞれ連絡する。

## 6 閉会

### (事務局 MURC)

本日は、お忙しいところ出席いただきありがとうございました。

なお、本日の発言以外に、本協議会に関する意見等があれば、会議終了後1週間程度を目途に事務局までメール等にてお知らせいただきたい。

(オンライン用タブレット貸出し者へのお願い事項・省略)

以上で、第20回災害廃棄物対策中国ブロック協議会を閉会する。オンライン会議も通信を終了する。

本日は長時間ありがとうございました。

以上